

## <白金標準、新甫 12 月限で 4431 円を超えて 4500 円へ・・・>



(出所：オアシス)

今年最後の中央銀行の政策会合が終わり、来年に向けてFRBの利下げ観測の高まり、ECBはインフレ抑制を持続する可能性が強まっている。そのため週末の為替市場では、中央銀行の金融政策の違いを受けてユーロドルで約4ヵ月ぶりの高値1ユーロ：1.1021ドルまでユーロが買われている。また中国のCCTVは中国共産党中央政治局が2023年の主要経済目標を達成したと報じており、政治局は2024年の経済回復を促すと述べている。

またミシガン大消費者信頼感指数では、1年先のインフレ期待が3.1%となり、2021年3月以来の低水準となり、消費マインドは8.4上昇し69.7となるなど、インフレを抑制しながらリセッションを回避した動きを見せている。

そのため白金価格を押し下げていた、米国経済のリセッションを回避し、為替市場ではユーロ高・ドル安の動きを続け、中国经济回復に期待が掛かるなどNY白金は950ドルを維持しながら、週末には1000ドルに近付くなど上昇基調は衰えていない。そのため白金標準先物も新甫12月限で目先の高値4431円を超える値動きを強めて来ると思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDは上昇し、シグナルも上昇を続け、RCIでも短期が強さを維持し、長期は切り上げだすなど、オシレーターは強気を維持した状態であり、安易な売りのエントリーは避けた方が良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,470,000 円(2023 年 12 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2023 年 12 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>